

令和4年度

事業報告書

特定非営利活動法人日本家族カウンセリング協会

1 事業の成果

普及啓発事業

- (1) 会報及び出版物等の発行: 会報、ニュースレターの発行、メールニュースを発信した。HPをリニューアルし、情報の提供がわかりやすく親しみのあるものに工夫した。ニュースレターは広報委員が中心となり、楽しく読みやすい内容となり好評だった。
- (2) 大規模セミナーとして実施の定期研修会の内、8月開催の夏期研修会(2日間)開催は、コロナ感染者の拡大により対面からオンラインに変更して開催した。翌3月の春期研修会(2日間)は感染症対策を講じながら3年ぶりに対面開催ができた。参加者も久しぶりの研修で歓びの場面が多くみられた。他にオンライン研修として3時間を3回実施した。従来の地方研修会、事例検討会も集合研修の開催に代わるものとなったが、やはり地域での対面研修を実施してほしいとの声があった。
- 小規模セミナー(継続): 家族相談士フォローアップセミナーを協会認定「家族支援士」資格申請の必須セミナーとして「家族支援に活かすグループワーク」「ブリーフセラピー」を位置づけている。「家族支援士」資格認定審査を数年ぶりに実施し、3名が認定され、家族支援室の活動に参加している。

相談室の事業

- (1) 相談室(家族支援室)は家族支援士が、一般市民を対象として家族療法の理論を基に面接相談を実施している。当年度は10件の新規ケース、個人・合同面接を17回行った。HPから相談予約できるように変更。男性からの相談が増えてきていることが特徴として挙げられ、グループサポート部門での「男性の声を聴くセミナー」の企画開催に繋がった。
- (2) 相談(面接)のケースを中心にGSV(グループスーパービジョン)を実施し、相互に学び、カウンセラーとしての資質の向上を諮った。
- (2) 相談業務は、他業種と連携をとることの大切さから、支援室企画講座として、法律編「別居・離婚事例における法律の話」を専門家に聞くを開催し、反響があった。

人材の養成事業

- (1) 家族相談士養成講座: 家族理解と支援のための専門職「家族相談士」の養成コースが当年度で26期となった。コロナ禍が続く中、全課程オンライン配信とし、全国はもとより、韓国、ベルギーからも参加、60名が受講した。子育て、医療、介護、教育、産業などの支援者は、日々直面している多様化する家族の問題に理解を深めたいというニーズは潜在的には大きいと感じる。インターネット上でのPRにも力を入れた成果もあるが、受講者の口コミで広がる部分も大きく、本講座の受講のために、数年越しで準備している人たちがいる。オンライン講座としたことで受講の機会に繋がることはよいが、対面での研修で得られるものも多く、今後は混合で行うことも考えていきたい。講座終了後、総括の勉強会をオンラインで実施した。

2 事業の実施に関する事項

無し

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【12,905】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
普及啓発事業	会報及びニュースレター メールニュースの発行	R4 7月. 9月・4月 R5・1月・ 毎月発信	法人 事務所内	6人	会員	430人	6,968
	HP	毎月更新					
	夏期研修会 春期研修会 オンライン研修会・ 小規模セミナー	R4年8月20日21日 R5年3月4日5日 R4年9月、11月、 R5年1月	オンライン 連合会館(都 内) オンライン	8人	会員 および 一般市民	380人	

相談室の設置・ 運営事業	家族支援カウンセ リング・ルー ム	R4年4月～ R5年3月 月火水金土日	法人相談室	13	一般市民	40人	1,535
	家族支援のピ ア・サポートセ ミナー	R4.10月2回	オンライン	13	一般市民	4	
	家族支援士が企 画するセミナー	R4.9月	オンライン	13	会員および 一般市民	45	
人材の 養成事業	R4年度家族相談 士養成講座	R4年5月～11月	オンライン		会員 および 一般市民	60人	4,401
	R4年度 家族相談士 特別講座	R4年12月	オンライン		会員 および 一般市民	50人	

令和4年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人日本家族カウンセリング協会

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
(A)	経常収益		
1	受取会費		2,376,000
	入会金受取会費	48,000	
	正会員受取会費	2,328,000	
	賛助会員受取会費	0	
2	受取寄附金		28,000
	受取寄附金	28,000	
3	受取助成金等		1,000,000
	受取補助金	1,000,000	
4	事業収益		15,809,200
	普及啓発事業収益	4,200,500	
	相談室の設置・運営事業収益	784,700	
	人材の養成事業収益	10,824,000	
5	その他の収益		2,098
	受取利息	2,098	
	経常収益計		19,215,298
(B)	経常費用		
1	事業費		
	(1) 人件費		2,219,800
	給料手当	2,219,800	
	(2) その他経費		10,685,796
	謝金	2,589,000	
	業務委託費	1,292,954	
	運送費	6,280	
	広告宣伝費	183,480	
	会議費	25,028	
	旅費交通費	594,398	
	消耗品費	180,498	
	水道光熱費	209,190	
	通信費	428,643	
	印刷費	291,737	
	租税公課	1,102,100	
	賃借料	3,392,464	
	図書研究費	121,500	
	支払手数料	238,189	
	雑費	30,335	
	事業費計		12,905,596
2	管理費		
	(1) 人件費		3,430,459
	役員報酬	1,200,000	
	給料手当	1,787,500	
	法定福利費	392,959	
	退職慰労積立金繰入	50,000	
	(2) その他経費		2,311,662
	運送費	1,050	
	会議費	4,643	
	旅費交通費	405,501	
	通信費	107,682	
	消耗品費	67,631	
	水道光熱費	69,730	
	印刷費	70,183	
	賃借料	993,202	
	接待交際費	3,240	
	保険料	8,640	
	支払手数料	363,660	
	雑費	16,500	
	周年事業積立金繰入	200,000	
	管理費計		5,742,121
	経常費用計		18,647,717
	当期経常増減額 [A] - [B] . . . ①		567,581
(C)	経常外収益		
	固定資産売却益		
	過年度損益修正益		
	経常外収益計		0
(D)	経常外費用		
	固定資産売却損		
	災害損失		
	過年度損益修正損		
	経常外費用計		0
	当期経常外増減額 [C] - [D] . . . ②		0
	税引前当期正味財産増減額 ①+② . . . ③		567,581
	法人税、住民税及び事業税 . . . ④		
	前期繰越正味財産額 . . . ⑤		6,165,951
	次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		6,733,532

令和4年度 貸借対照表

特定非営利活動法人日本家族財リテイング協会

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金預金	11,652,044	11,993,872
未収金	5,000	
貯蔵品	53,971	
前払費用	282,857	
流動資産合計・・・①		11,993,872
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		3
車両運搬具	2	
什器備品	1	
(2) 無形固定資産		0
ソフトウェア		
借地権		
(3) 投資その他の資産		810,000
敷金	810,000	
長期貸付金		
固定資産合計・・・②		810,003
【A】 資 産 合 計 ①+②		12,803,875
【B-1】 負 債 の 部		
1 流動負債		
未払金	782,098	1,710,343
前受金	892,000	
預り金	36,245	
流動負債合計・・・③		1,710,343
2 固定負債		
周年事業積立金	900,000	4,360,000
退職慰労積立金	3,460,000	
固定負債合計・・・④		4,360,000
負債合計③+④		6,070,343
【B-2】 正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額	6,165,951	6,733,532
当期正味財産増減額	567,581	
正味財産合計		6,733,532
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】		12,803,875

令和4年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人日本家族カウンセリング協会

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価は最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

事務所造作及び什器備品の減価償却費は定率法によっています。

(3) 引当金の計上基準

・退職慰労積立金

理事、従業員の退職慰労金、退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	普及啓発事業	相談室の設置・運営事業	人材の養成事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費				0	2,376,000	2,376,000
2. 受取寄附金				0	28,000	28,000
3. 受取助成金等				0	1,000,000	1,000,000
4. 事業収益	4,200,500	784,700	10,824,000	15,809,200		15,809,200
5. その他収益				0	2,098	2,098
経常収益計	4,200,500	784,700	10,824,000	15,809,200	3,406,098	19,215,298
II 経常費用						
(1) 人件費						
給料手当	1,624,800	0	595,000	2,219,800	1,787,500	4,007,300
役員報酬				0	1,200,000	1,200,000
法定福利費				0	392,959	392,959
福利厚生費				0	0	0
退職慰労積立金繰入				0	50,000	50,000
人件費計	1,624,800	0	595,000	2,219,800	3,430,459	5,650,259
(2) その他経費						
謝金	1,094,000	175,000	1,320,000	2,589,000		2,589,000
業務委託費	239,111	87,000	966,843	1,292,954		1,292,954
運送費	6,280			6,280	1,050	7,330
広告宣伝費			183,480	183,480		183,480
会議費	20,039	1,877	3,112	25,028	4,643	29,671
旅費交通費	376,946	24,000	193,452	594,398	405,501	999,899
消耗品費	101,166	33,672	45,660	180,498	67,631	248,129
水道光熱費	111,708	69,661	27,821	209,190	69,730	278,920
通信費	320,957	54,169	53,517	428,643	107,682	536,325
印刷費	175,461	35,092	81,184	291,737	70,183	361,920
賃借料	1,994,165	992,208	406,091	3,392,464	993,202	4,385,666
接待交際費				0	3,240	3,240
租税公課	585,215	62,820	454,065	1,102,100		1,102,100
図書研究費	50,000		71,500	121,500	0	121,500
保険料				0	8,640	8,640
支払手数料	238,189			238,189	363,660	601,849
周年事業積立金繰入					200,000	200,000
雑費	30,335			30,335	16,500	46,835
その他経費計	5,343,572	1,535,499	3,806,725	10,685,796	2,311,662	12,997,458
経常費用計	6,968,372	1,535,499	4,401,725	12,905,596	5,742,121	18,647,717
当期経常増減額	-2,767,872	-750,799	6,422,275	2,903,604	-2,336,023	567,581

3. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は6,733,532円です。そのうち下記のように使途が特定されているものはありません。

したがって使途が制約されていない正味財産は6,733,532円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
普及啓発事業寄附金	0	28,000	28,000	0	令和4年10月30日講演会開催。翌期に繰り越される残高はございません。
合計	0	28,000	28,000	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
事務所造作	1,158,856			1,158,856	△1,158,854	2
什器備品	808,500			808,500	△808,499	1
無形固定資産						
投資その他の資産						
敷金	810,000			810,000		810,000
合計	2,777,356	0	0	2,777,356	△1,967,353	810,003

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人日本家族カウンセリング協会

(単位：円)

科	目	金額	小計	合計
【A】	資産の部			
1	流動資産			
	現金預金		11,652,044	11,993,872
	手元現金	167,000		
	三井住友銀行普通預金（経費支払口座）	3,050,383		
	三井住友銀行普通預金（人材養成口座）	164,269		
	郵便振替口座（入会金・会費振込口座）	617,539		
	郵便振替（人材養成口座）	880,000		
	郵便貯金-東高円寺郵便局	2,412,853		
	郵便貯金（周年事業積立口座）	900,000		
	郵便貯金（退職慰労積立口座）	3,460,000		
	未収金		5,000	
	家族支援室相談料（子育て応援券）	5,000		
	棚卸資産		53,971	
	切手・葉書・印紙	5,071		
	封筒	48,900		
	前払費用		282,857	
	4月分事務所等家賃	282,857		
	流動資産合計・・・①			11,993,872
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産			3
	事務所造作		2	
	造作工事等	2		
	什器備品		1	
	印刷機	1		
	(2) 無形固定資産		0	0
	(3) 投資その他の資産			810,000
	敷金		810,000	
	事業所等	810,000		
	固定資産合計・・・②			810,000
	【A】資産合計 ①+②			12,803,875
【B-1】	負債の部			
1	流動負債			
	未払金		782,098	1,710,343
	3月分役員報酬・給与等	461,900		
	講師謝金	15,000		
	交通費	53,618		
	業務委託費	90,540		
	研修会会場費	161,040		
	前受金		892,000	
	研修室使用料	12,000		
	2023年度講座受講料	880,000		
	預り金		36,245	
	源泉徴収税	36,245		
	流動負債合計・・・③			1,710,343
2	固定負債			
	周年事業積立金		900,000	4,360,000
	周年事業積立金	900,000		
	退職慰労積立金		3,460,000	
	退職慰労積立金	3,460,000		
	固定負債合計・・・④			4,360,000
	【B-1】負債合計 ③+④			6,070,343
	【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】			6,733,532

令和4年度
年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人日本家族カウンセリング協会

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	ハセガワケイゾウ 長谷川啓三		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
2	○理事・監事	イカリユミコ 碓由美子		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
3	○理事・監事	カミワキタカシ 上脇貴		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
4	○理事・監事	スギタニマリコ 杉溪真理子		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
5	○理事・監事	タカマリオウコ 高間 量子		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
6	○理事・監事	ムラオヤスヒロ 村尾 泰弘		令和3年4月1日 ～ 令和3年11月27日	
7	○理事・監事	モリトモユミコ 森友由美子		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
8	理事 ○監事	ニイムラトキコ 新村富喜子		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
9	理事・○監事	アイザワ (コマバ) ユウコ 相澤 (駒場) 優子		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 日本家族カウンセリング協会

	氏 名	
1	長谷川 啓三	[Redacted]
2	上脇 貴	
3	碓 由美子	
4	高間 量子	
5	杉溪真理子	
6	村尾 泰弘	
7	森友由美子	
8	新村富喜子	
9	相澤（駒場）優子	
10	柴山智恵子	
11	徳江 逸子	
12	森下 徹	